

Concert Series  
珠玉のリサイタル&室内楽



# 徳永二男、堤剛、練木繁夫による 珠玉のピアノトリオ・コンサート Vol.8

クラシック音楽界を長年牽引し続ける、徳永二男、堤剛、練木繁夫による究極のピアノトリオの人気シリーズ第8弾！  
今回は、ショスタコーヴィチの友人への追悼として捧げられた第2番を中心に、ベートーヴェン、ブラームスの名曲をお届けします。  
響き豊かなヤマハホールで、巨匠たちによる至高のアンサンブルを存分にお楽しみください。

徳永二男(バイオリン)、堤剛(チェロ)、練木繁夫(ピアノ)

L.v.ベートーヴェン/ピアノ三重奏曲 第11番 ト長調「仕立て屋カカドゥ」の主題による変奏曲とロンド Op.121a

J.ブラームス/ピアノ三重奏曲 第2番 ハ長調 Op.87

D.ショスタコーヴィチ/ピアノ三重奏曲 第2番 ホ短調 Op.67

2022/2/11 (金・祝) 14:00開演(13:30開場) ヤマハホール 〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14

2021/11/5(金)前売開始 チケット料金(全席指定) 7,000円

チケット取扱い チケットぴあ <https://pia.jp/t/> [Pコード:206-749] 0570-02-9999  
(※チケットぴあ電話予約サービスは2021年末で終了)

ヤマハ銀座ビルインフォメーションカウンター(ヤマハ銀座ビル1階)

主催/ヤマハ株式会社

※政府のイベント人数制限方針により、販売席数が変動する可能性があります。予めご了承ください。

※都合により、出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※末就学児のご入場はご遠慮いただいております。

※チケット料金には消費税が含まれております。

# 徳永二男、堤剛、練木繁夫による 珠玉のピアノトリオ・コンサート Vol.8



徳永二男 Tsugio Tokunaga (バイオリン)

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。68年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。76年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。その後首席第一コンサートマスターを経て、ソロ・コンサートマスターの重責を担う。N響在籍時代よりヨーロッパ、アメリカ各地から招かれる。94年にN響を退団し、ソロ、室内楽に専念。92年より鎌倉芸術館ゾリステンを主宰し、95年から2013年までJTアートホール室内楽シリーズの音楽監督を、96年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務める。ソリストとして、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など、国内外の主要オーケストラからたびたび招かれている。08年から毎年、東京でリサイタル・シリーズを行う一方で、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど、幅広い演奏会を全国で行っている。15年、ティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリンコンクールの審査員を務める。16年には楽壇生活50周年を迎え、文化庁長官表彰を受ける。20年のベートーヴェンイヤーには、仲道郁代氏とヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い好評を博す。21年は、楽壇生活55周年を迎え、多くの演奏家や弟子たちが国内外から集い、サントリーホールにて記念演奏会を行う。近年は指揮者として、東京フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、宮崎国際音楽祭管弦楽団などと共演。CDは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集や、バガニーニのカプリースなどをリリースしており、最新盤は「徳永二男プレイズ R. シュトラウス ヴァイオリン・ソナタ」(オクタヴィア・レコード)。



堤剛 Tsuyoshi Tsutsumi (チェロ)

名実ともに日本を代表するチェリスト。桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室、桐朋学園女子高等学校音楽科を通じ齋藤秀雄氏に師事。1961年インディアナ大学に留学し、ヤーン・シュ・シュタルケル氏に師事。同年ミュンヘン国際コンクールで第2位、ブダペストでのカザルス国際コンクールで第1位入賞。これまでに鳥井音楽賞(現サントリー音楽賞)、ウジェーヌ・イザイ・メダル(ベルギー)、芸術祭放送大賞、芸術祭優秀賞、レコードアカデミー賞、モービル音楽賞、N響有馬賞、日本芸術院賞、中島健蔵音楽賞、ウィーン市功労名誉金賞、毎日芸術賞(音楽部門)、文化庁創立五十周年記念表彰など多数受賞、表彰されている。2009年秋の紫綬褒章を受章。また同年、天皇陛下御在位二十年記念式典にて御前演奏を行った。13年、文化功労者に選出。14年インディアナ大学よりトーマス・ハート・ベントン・ムールメダル、16年ウィーン市功労名誉金賞、16年度毎日芸術賞(音楽部門)、18年文化庁創立五十周年記念表彰など多数受賞、表彰されている。最近の録音では、20年12月にリリースされた『肖像』(マイスター・ミュージック)がレコード芸術特選盤に選出されている。20年秋にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団日本公演においてソリストを務め、大反響を呼んだ。カナダ・西オンタリオ大学准教授、アメリカ・イリノイ大学教授、インディアナ大学教授を経て、現在桐朋学園大学特命教授(前学長2004~13年)、韓国国立芸術大学客員教授。公益財団法人サントリー芸術財団代表理事、サントリーホール館長。日本芸術院会員。



練木繁夫 Shigeo Neriki (ピアノ)

1976年ツーソンのバイエニアル・ピアノ・コンクールと79年ピッツバーグのスリー・リヴァーズ・ピアノ・コンクールで1位に輝く演奏を機に、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、デンバー交響楽団、ピッツバーグ交響楽団、ミネアポリス交響楽団、ワシントン・ナショナル交響楽団等と共演の機会に恵まれる。アメリカ国外でもメキシコ国立交響楽団、フランス放送管弦楽団、そしてNHK交響楽団を含む日本の主要なオーケストラと共演。また、76年より、チェロの巨匠ヤーン・シュ・シュタルケル氏とともに世界各地を公演し、絶賛を浴びる。2009年10月、紀尾井ホールでの「デビュー30周年記念リサイタル」は、各方面から高い評価を得た。室内楽奏者としてもヨーロッパ、アジア、北米のコンサートやフェスティバルに数多く出演。スイスのFestival der Zukunftの室内楽シリーズと霧島国際音楽祭に毎年出演している。93年第24回サントリー音楽賞を受賞。90年シュタルケル氏と収録したD. ポッパーの作品のCDが、グラミー賞のソリスト部門にノミネートされる。97年にはオール・シューマン・プログラムの「パピヨン」が、文化庁芸術祭賞作品賞を受賞。03年秋には著書「Aをください」(春秋社)を出版。81年~15年までインディアナ州立大学で教鞭をとった。現在、桐朋学園大学教授、国立音楽大学招聘教授、相愛学園大学客員教授、エリザベート音楽大学非常勤講師、霧島国際音楽祭企画委員。リサイタルのみならず、室内楽、オーケストラ共演と幅広く活躍中。

## ヤマハホール YAMAHA HALL

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14  
03-3572-3139(10:00~18:00/平日のみ)  
<https://www.yamahamusic.jp/shop/ginza/hall.html>

- 東京メトロ銀座線・丸ノ内線/日比谷線  
「銀座」駅A3出口より徒歩4分
- 都営地下鉄浅草線「新橋」駅、「東銀座」駅より徒歩7分
- JR線「新橋」駅より徒歩7分

ヤマハホール公式 Facebookページ  
<https://www.facebook.com/yamahahall>

Like
「いいね!」ボタンの  
クリックをお願いします。

